

27年度 大型骨格予算可決

平成27年第1回定例会

国主導地方創生繰り越し予算と 6月予定の補正予算をふくめ、町再活性化へのスタート



予算審査特別委員長の審査報告

平成27年第1回定例会は2月町長選直後、4月町議会議員選挙前というタイミングの3月10日から30日の21日間開かれました。最大の議題は27年度予算の審議ですが、町長選直前に編成された予算なので、原則的

第100号
平成27年5月26日
(2015)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 児玉信治
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp
議会ホームページは
「山ノ内町議会」で検索!!

山ノ内町議会 検索

もくじ

3月定例会関連記事	20
予算審査特別委員会	22
一般質問内容	24
常任委員会再編を答申	30
みなさんからの請願・陳情	31
100号記念特集	32
みんなのひろば・編集後記	35

には、確定している歳入・歳出に限定しての骨格予算です。議会は予算審査特別委員会を編成して全議員が3部会に分かれて分担し、3日間にわたり細部を審議しました。骨格予算といっても、前年度当初予算のわずか3%減、4年前の町長選の時の骨格予算にくらべると11%以上の増（いずれも一般会計予算ベースでの比較）という大型予算です。これに27年度に繰り越される国主導の地方創生関連予算、および町長の新施策を織り込んだ6月補正予算を加えると、相当大型になることが予想されます。27年度の予算は、ちょうど町制実施60周年を迎えた当町にとって、北陸新幹線開通、善光寺御開帳などのタイミングも活用して、人口減、産業不振など衰退に歯止めを掛けて再活性化元年にすることができるとかどつかに大きく影響してくる可能性があります。

この一般会計骨格予算のほか、6特別会計と水道事業会計予算、機能別消防団員設置や新制度教育長の位置づけに関わる条例改正などを含む議案33件、町長専決処分報告5件、同じく承認1件、副町長新任などの人事同意案件4件などが可決されました。陳情は採択1件、不採択1件です。集団的自衛権法規制設定反対の意見書提出の陳情については、審査を付託された総務委員会において不採択としましたが、本会議では賛成多数で採択し、意見書提出も可決しました。

一般質問では13名の議員が登壇し、行政全般について質しました。



3月14日 開通した北陸新幹線

国提唱の 地方創生事業

プレミアム付き商品券発行事業、福祉乗り物補助券給付事業、地域福祉活動事業などに約5,600万円が国から注入されることから、3月議会で補正予算を可決しました。なお、実施は27年度になりますので、予算の繰り越しも承認しました。

新副町長の選任に同意

前北信地方事務所長で広域に精通



反対討論

黒岩 浩一

柳澤 直樹（59歳）
長野市吉田1丁目26番地20
（任期は平成27年4月1日
～31年3月31日）

新任者個人に含む所はないが、選任の理念と取り進め方が問題。①町長が行政出身なので、副は民間出身として感覚のバランスをと

採決結果
賛成14名、反対1名で同意可決

るべき。このバランスがわずか1期4年で崩れたのは残念。②長い付き合いで人物資質経歴を見込み指名したのならばまだしも、間際に県に要請してたまたま決まったとの町長説明。それでは県におもねって天下りを頂いたに過ぎず、時流逆行である。

機能別消防団員制度新設と水防団廃止

社会環境の変化で消防団員定数確保が難しくなり、また日中の勤務先が遠くで急場に駆けつけることができない人が多い状況でした。ここ数年にわたり関係者が対応手段を研究の結果、主として町内に住む消防団OBを職務限定の機能別消防団員とする制度が新しく条例化されました。全国でも数少ない制度です。なおこれに関連して水防も消防団業務に含めることになり、水防団制度は廃止されました。



機能別消防団員の辞令交付式

議会構成の変更

議会定員が2名減の14名となりましたので、従来の総務、社会文教、観光経済及び広報の4常任委員会制度を、次のとおり3常任委員会に再編する条例を可決しました。

- ①総務産業常任委員会 7名
- ②社会文教常任委員会 7名
(全議員はこのどちらかに所属)
- ③広報常任委員会 6名
(従来通り、①又は②と兼任)

固定資産評価審査委員会委員

山崎 廣一 大字夜間瀬737番地3
任期：平成27年4月3日～30年4月2日

白鳥 久男 大字寒沢958番地2
任期：平成27年4月1日～29年3月31日

農業委員会委員の推薦

山本 哲也 大字平穩3219番地2
池田 元子 大字夜間瀬3829番地
中澤多恵子 大字佐野1164番地
小沢 茂昭 大字夜間瀬3441番地1
任期：平成27年4月15日～30年4月14日

27年5月31日まで		27年6月1日から		所 管
総務常任委員会	5人	総務産業常任委員会	7人	議会・総務課・税務課・消防課・会計室・選挙管理委員会・監査委員・農林課・観光商工課・農業委員会・建設水道課に関する事項
観光経済常任委員会	5人			
社会文教常任委員会	6人	社会文教常任委員会	7人	健康福祉課・教育委員会に関する事項
計 16人		計 14人		
広報常任委員会（兼務）	6人	広報常任委員会（兼務）	6人	議会だより・議会ホームページの編集に関する事項
議会運営委員会（兼務）	7人	議会運営委員会（兼務）	6人	議会運営に関する事項

平成27年度骨格予算

一般会計

総額64億3,600万円

前年比
3%減

町制60周年記念事業

小・中学校体育館耐震改修、南部浄水場設計

予算審査委員会報告

予算審査は3月16日議員全員で構成する予算審査特別委員会（委員長小林克彦、副委員長高山祐一）に付託審査にあたっては、常任委員会をもって、3部会（第1部会総務、第2部会社会文教、第3部会観光経済）とし、17日から4日間、所管課の説明と資料の提出を求め、細部にわたり審査しました。3月30日の本会議で委員長より審査結果の報告があり、反対・賛成の討論後、一般会計予算は賛成13、反対2で可決。6特別会計予算、水道事業会計予算は全会一致で可決しました。

部会意見

民生費

共通

○まち・ひと・しごと創生の地方版総合戦略を効果的に後期基本計画に組み入れること。

○第5次総合計画前期基本計画、特にまちづくり重点アクションプランの完全なる実施と検証を行い、後期基本計画に反映させること。

総務費

○税の収納率向上に向けてさらなる努力をすること。

○社会保障・税番号（マイナンバー）制度の周知に万全を期すこと。

農林水産業費

○真の6次産業のあり方を検証し、育成につとめること。
○新規就農者のさらなる増加のため、支援策の強化をはかること。

○人・農地プランは実効があがるように取り組むこと。

商工費

○観光連盟との新たな協力体制を構築し、観光振興に取り組むこと。

○案内看板・案内機能の充実には、インバウンド対応も含め整備すること。

農林水産業費・商工費共通

○ユネスコエコパークを活用し、産業振興につなげること。

土木費

○公民館・公会堂等の避難所耐震化対策を着実に実施すること。

○急傾斜地砂防対策事業をすみやかに進めること

○景観計画は具体的に推進すること。

消防費

○危機管理態勢の強化と防災意識の啓発をはかること。



耐震改修予定の中学校体育館

教育費

○地域防災力向上のため、自主防災組織の育成強化をはかること。

○社会体育施設について、整備計画を策定すること。

○今後の学校教育環境については、早急に整備を進めること。

特別会計等

有線放送電話事業

○新情報システムを3年をめどに稼働させること。

国民健康保険（事業勘定）

○特定健康診査については、受診率の目標値達成に向け努力すること。
○保険税の収納率向上につ

介護保険

とめるとともに、会計の安定的な運営をはかること。

○介護予防を充実させるとともに、利用者の希望や状況を把握し、適切なサービス提供に万全を期すこと。

公共下水道事業 農業集落排水事業

○加入率・接続率の向上をさらにはかり、特に補助を受けた合併浄化槽設置者には早期に接続を求めること。
○使用料及び分担金の滞納解消につとめること。

水道事業会計

○浄水場施設更新までの間、既存施設の維持管理と水道水の安定供給につとめること。

総括意見

予算審査特別委員会委員長 小林克彦

平成27年度予算は、町長の任期満了にともなう選挙が2月に実施されたため骨格予算ではあるが、一般会計歳入予算は、64億3,600万円で果実共選所整備補助3億5,050万円が終了したものの、前年比1億9,600万円の減にとどまり大型となつている。

歳入のうち町税は、前年比9,659万円減の16億8,453万円で、減額の大きな要因は宅地価格の下落傾向と評価替え年であること、また家屋の評価額算定基準の見直しにより固定資産税1億300万円の減である。固定資産税の減額は、平成10年から18年間に及んでいる。

個人町民税は、平成10年から税制改正年を除き年々減少していたが、前年比600万円増の3億8,550万円を見込んだことは、三年連続の増である。

(中略)
地方交付税は、前年比8,000万円増の20億1,000万円を見込み、町税を上回ること4年目である。(中略)

繰入金金は、減債基金で1億円、財政調整基金で前年比9,308万円増の3億704万円である。諸収入は、ほぼ前年同額の1億255万円である。

町債は、前年比540万円減の9億480万円となっている。

歳出の議会費では、議員定数の改正で16名から14名へと2名減により、報酬は456万円減少した。

総務費では、本年は町制施行60周年にあたることから、多岐にわたり記念事業を計画しているが、本旨に添った内容になることに十分留意されたい。また、移住定住は需要と供給の調整が難しい事業であ

るので、さらに取り組みの専門性が望まれる。ふるさと寄附金は全国で返礼品の過熱傾向が見受けられるが、趣旨から逸脱しない範囲にとどめられたい。(中略)

商工費では、「第14回東アジア生物圏保存地域ネットワーク会議」が開催されるが、保存地域の実態が問われるのはもちろん、大会の成功が「観光のまち」の実力を示すものとなる。

消防費では、水防団を廃止して新たに、現実にくした機能別消防団員制度を導入する。(中略)

むすび

国は、平成27年度を地方創生元年と位置づけ地方創生担当大臣を任命し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と将来の人口展望を示す長期ビジョンを決定した。

事業費も国は地方創生先行型の交付金を平成26年度補正予算で決定、続けて平成27年度予算にも計上している。

町は折りしも町制施行60周年であり、北陸新幹線金沢延伸、善光寺御開帳等と取り巻く環境にも景気回復へのチャンスと条件は揃ってきている。町民税の減収も底打ちの感がうかがえる。いよいよ護るところは護り、攻めるべきところは攻める時期である。個性ある「町総合戦略・人口ビジョン」の作成、26年度繰越明許費17事業1億408万円、さらに6月補正予算が加わると年度内事業は大規模となり事務量の増大が予想される。事業執行については、特に範囲の広いユネスコエコパーク関連や就農支援・事業後継者対策については、関係課によるプロジェクトチームを設け、遺漏・遅滞等が生じることのない対応につとめ、これらの事業成果を以って町の景気回復元年となる記念すべき節目の年となることを期待したい。

全面改修予定の南部浄水場



一般会計予算

反対討論

湯本 市蔵

町予算案は、骨格であるが評価できる事業・施策は多く、是々非々の立場で昨年度は賛成していることから、難しいわけであるが、要は、国の予算に反対だということ。平成27年度国予算は、社会保障予算の削減、大企業減税、軍拡推進など、「安倍カラー」をますます強め、国民の声を無視した暴走路線を進めるものであり、日本共産党は予算の組み替えを提案し反対した。

賛成討論

高山 祐一

子育て支援策では、放課

後児童クラブの空調工事や平日の開所時間延長などの環境整備、保育料多子世帯3人目以降を半額にするなど、利用者目線であり、積極的な姿勢が伺える。一般会計から国民健康保険特別会計への法定外繰入金3,000万円は保険税の町民負担軽減の面から歓迎される。消防費では、機能別消防団員を配置する新たな取り組みで、団員不足の解消、地域防災力の強化を図った。

介護保険特別会計

賛成討論

渡辺 正男

第1号被保険者の介護保険料は、年額480円の値上げとなった。これは、第5期で1億円以上上った支払準備基金からの繰り入れ8,000万円以上を考慮した改定で、値上げ額が小さく抑えられたことは評価したい。公費による保険料負担軽減は、消費税増税に対応したものであり、本来の負担軽減とは違う。これが、低所得者対策助成金廃止の理由にはならない。対応の見直しを求める。

「消滅可能性都市」とは



山本良一

と想っているが提言を参考に、また対応していきたい。

【質問】 観光商工会館の耐震化を含めた今後の対応は。

【総務課長】 会館建物は、既に48年を経過、雨水のしみだしや電気設備などの劣化も進み、耐震対応もできていない。改修には多額の費用もかかることから、昨午商工会には、できるだけ早く事務所移転を検討してい

と想っているが提言を参考に、また対応していきたい。
【町長】 観光連盟も商工会も町には大切な団体で、行政として連携を密にして、一緒に観光商工業が活性化できる、また中核施設として機能できるように対応したい。
その他の質問
○観光連盟に対するスタンス
○インバンドへの対応
○グリーンツーリズムの対応
○4JA合併についての考え

「あまり抱いていない」と答えた市町村に山ノ内が入っていた。減少率上位3位という中でどうなってるのと戸惑った町民がいる。町民と町長の間ギャップがあるのは確かで、広報山ノ内の紙面で、月々「これに対してはこうだ」と投げかけていただけは、町民との意識の共有ができるのではないか。

【町長】 (創成会議の) 提言は、一つの危機感を持つ意味では大切と思うが、現実には皆様自身、恵まれた自然多くの住民がお住まいで、多くの観光客が訪れる町が、無くなるなどという事は、原子爆弾でも落ちる、とかあれば別だが、そうでない限り町民の皆様、観光客の皆さんに訪れていただく町

は、一つの危機感を持つ意味では大切と思うが、現実には皆様自身、恵まれた自然多くの住民がお住まいで、多くの観光客が訪れる町が、無くなるなどという事は、原子爆弾でも落ちる、とかあれば別だが、そうでない限り町民の皆様、観光客の皆さんに訪れていただく町



看板の文字が剥げ落ちた3月末現在の観光商工会館。老朽化が進み、耐震性は非対応、雨漏り漏電の可能性もある。

保育料の完全無料化を

西宗亮



今年36名の園児を送りだした『かえて保育園』

【質問】 人口減少問題の視点からも子育て支援は大切である。全国的には既に保育料完全無料化に踏み切ったところもある。子育て支援に特化した施策として保育料完全無料化を目指してほしい。

【町長】 27年度から多子世帯の保育料軽減も行う。財政上から大変厳しいものがあるが、一つの新しい提案課題として研究したい。

【質問】 放課後児童クラブは27年度から全学年が対象になり、利用者が増えると考

える。現在でも学年によっては82%と高い利用率である。ハード面、環境、衛生面など受入れ体制はできているのか。

【町長】 27年度から子育て支援策として、児童クラブの平日開所時間を保育園の延長時間と同様午後6時30分までにする。

【健康福祉課長】 新年度予算で児童クラブにエアコンの設置を予定するなど環境衛生面の改善に努めている。

人観光客数は前年を下回っているが、観光資源として志賀草津高原ルートの有効性をどのように考えるか。

【観光商工課長】 貴重な自然を目の当たりにできることで、素晴らしい観光資源だと考えている。

【質問】 高原ルートの通行規制時間緩和を関係機関、団体に強く要望してほしい。

【町長】 白根火山防災会議連絡協議会に加盟したことであり、既に話が出しているが、引き続き草津町とも連携して関係機関へ強く要望していきたい。

るもの様々な要因で日本

るもの様々な要因で日本

介護保険制度「改正」にどう対応するか



渡辺 正 男

負担割合を減じて納めていただく形になる。

質問 第6期計画での大きな変更点は。

健康福祉課長 ①要支援1・2の給付のうち29年度から通所と訪問サービスが保険の対象外となり、介護予防日常生活支援総合事業へ移行となる。②特別養護老人ホームの入所要件が、原則要介護3以上に限定される。③住民税非課税の低所得者に対して、公費による介護が保険料の負担軽減が行われる一方で、一定以上の所得がある方は利用料負担が1割から2割になる。

質問 国の保険料公費負担軽減制度の内容は。

健康福祉課長 消費税増税分を社会保障に充てるというこで入っていたメニュー1。非課税世帯で年金収入なら80万円未満が対象で、

負担割合を減じて納めていただく形になる。④低所得者の保険料軽減が行われるというこで、サービス利用料の町単独低所得者対策助成を段階的に廃止となっているが。

健康福祉課長 居宅系のサービスに対し、月額最大7,500円を町費で補助しているが、低所得者の保険料軽減が始まるので、そちらの方に原資の一部を充てたい。また、要支援1・2の

総合事業の財源が見込めないことから、限られた財源の中で安定的なサービスを構築していくために見直しさせていきたい。

質問 国の負担軽減は消費税増税の見返りでしかない。保険料の軽減とサービス利用料の軽減はまったく別話。町の助成制度の廃止は介護サービスの利用抑制を招く。近隣に誇るべき制度であり、見直しを求める。

総事業の財源が見込めないことから、限られた財源の中で安定的なサービスを構築していくために見直しさせていきたい。

総事業の財源が見込めないことから、限られた財源の中で安定的なサービスを構築していくために見直しさせていきたい。

平成27年度から29年度までの介護保険料が改定となりました
65歳以上の方に納めていただく介護保険料について下記のとおり10段階となります。

段階別	対象となる方	保険料
第1段階	生活保護受給者又は世帯全員が住民税非課税の老齢福祉年金受給者で前年合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の方	34,980円
第2段階	世帯全員が住民税非課税かつ前年合計所得金額+課税年金収入額が120万円以下の方	47,640円
第3段階	世帯全員が住民税非課税かつ本人の課税年金収入が120万円を超える方	50,880円
第4段階	世帯に課税者がいて、本人が住民税非課税かつ前年合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の方	54,000円
第5段階	世帯に課税者がいて、本人が住民税非課税かつ前年合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超える方	63,600円 (基準額)
第6段階	本人が住民税課税者で、前年合計所得金額が120万円未満の方	82,680円
第7段階	本人が住民税課税者で、前年合計所得金額が190万円未満の方	85,800円
第8段階	本人が住民税課税者で、前年合計所得金額が290万円未満の方	104,880円
第9段階	本人が住民税課税者で、前年合計所得金額が350万円未満の方	111,240円
第10段階	本人が住民税課税者で、前年合計所得金額が350万円以上の方	127,200円

新しい介護保険料（「広報やまのうち」4月号より）

ふるさと納税の現状と今後の課題は

高山 祐一



町長 今まで40万円ほどだったが、特典をつけたら1,400万円超になった。今年度は1,500万円を見込んでいる。

総務課長 政府案は、地方活性化策として、納税に係る寄附金税額控除について、限度額を現行の1割から2割に引き上げること、確定申告が不要になることを決め、より寄附しやすい環境になり、大幅に寄附件数が増えることが予想される。その対応策として、ヤフー公金収納システム利用

で、納付しやすい環境を整え、さらに魅力ある特典の導入を検討し進めていく。
質問 上林地区の冬期道路状況の現状と改善点は。
建設水道課長 現在、除雪や砂、融雪剤の散布で対応しているが、凍結等により転倒される方、怪我をされる方がいて、万全とは言えない状態である。今後、融雪パイプを設置し無雪道路にすることを検討したい。

質問 キャッチフレーズだから言い清流育ちは、農業だけでなく観光面など、多方面での活用をはか

り、英語版 (Clear Water for Great Taste: Clear Water Makes Delicious Produce. など) 3表記を提案、中国語版などの外国語表記の必要性は。
町長 農業以外にも活用していく、東京市場ではそのストーリー性が評価を得ている。
その他の質問
○3期目の重点施策について
○社会体育館問題について
○少子化施策について
○婚活支援事業について

ふるさと納税 (納税)
ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。

ふるさと応援 (納税)
ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。

ふるさと納税 (納税)
ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。ふるさと納税は、ふるさとを応援するための制度です。

納税方法はより納めやすいシステムに

外国人旅行者への対策は

小根澤 弘



【質問】 増加してきている外国人旅行者への今後のさらなる対策は。

【町長】 当町に訪れる観光客に占める外国人観光客は約1%程度だが、今後は伸びしろが期待できることから積極的にインバウンド事業として外国人の目線に立ち、ニーズを大切に推進したいと考えている。

【質問】 外国人旅行者が一番不便と感じてるのはなにかと思うか。

【観光商工課長】 通訳ボランティアと湯田中駅のガイドセンター職員に聞いたところ、少数意見として、言葉・案内看板・交通アクセスなどがあつた。

【質問】 今後、町内の案内看板・標識などを外国人旅行者が分かりやすいように変えて行く考えは。

【観光商工課長】 案内看板は

整備されているが全体とすれば不足していると考えているので、ピクトグラム(絵文字)を合わせたものでわかりやすいように整備したい。

【質問】 ホテル・旅館・飲食店へのローマ字表示の働きかけを観光連盟と共にやって行く考えは。

【観光商工課長】 今後、観光連盟や商工会を通じて働き

かけたいと考えている。

【質問】 外国人旅行者専用の案内所の設置の考えは。

【観光商工課長】 湯田中駅構内のガイドセンターに訪れる旅行者の約8割は外国人であり、夜間瀬の観光案内事業もJNTO(日本政府観光局)の認定でもあり、いまあるものを充実させることで対応できると考えている。



もっと多くの外国人旅行者に来て欲しい
(和食を楽しむ外国人旅行者)

国立公園内の 廃屋ホテル対策を

山本 一二三



【質問】 危険な空き家は、放火、倒壊、落雪等のおそれがあり、多くの自治体は条例を設置して対策に取り組んでいるが、このたび施行となった「空き家等対策の推進に関する特措法」をどう活用し、対応していくか。

【総務課長】 この特措法で、空き家の立ち入り検査や、固定資産税情報の利用ができるようになる。特措法の完全実施は5月26日。特定空き家等の所有者、管理者



国立公園内の廃屋化したホテル

に対して、除却、修繕、立木の伐採、周辺の生活環境の保全などに必要な措置の助言、指導、勧告、命令することができるとしている。そのため条例整備と具体的な取り組みを今後検討する。

【質問】 当町には国立公園内に空きホテルが13軒ある。廃屋化した巨大建物の撤去費用は億単位にもなり、その費用の捻出は不可能である。かつて国は、紡績工場の撤去費用を肩代わりした事例もある。国立公園の特別保護地区内の自然と景観を守るためにも、国・県・町は、この廃屋問題に対処

する責任があると思うか。

【町長】 8年前、町長就任直後に、国立公園内の廃屋に補助制度を設けてもらうよう県に要望した。県も実態を十分承知しているため、検討委員会を設置したが、結論は出していない。引き続き要望していく。町は、国立公園の自然を守り保持していく責務がある。今後も、地元関係者と一緒になって対策に努める。

【その他の質問事項】

○若者定住、子育て支援の観点からも、3歳以上の保育料につき、基本的に無料化実施を。

ラウンドアバウト交差点を導入すべき と思うが



小淵 茂 昭

質問 国道403号の路面状態が非常に悪いが。

建設水道課長 舗装面の状態が悪く改良要望は承知している。町からもオーバレイによる抜本的な路面改良要望を建設事務所へ伝えてあり、早期に改修出来るよう要望を継続していく。

質問 農政対策の取組み強化を農産物流通の変革期をどのように考えるか。

農林課長 生産農家の所得が上がり竹、ワラビなど特産林用物の指導支援をしている。

質問 農政対策の取組み強化を農産物流通の変革期をどのように考えるか。

農林課長 陸ワサビ、根曲がり竹、ワラビなど特産林用物の指導支援をしている。

質問 新興作物の導入指導は進んでいるか。

小学校の統廃合、 教育委員会で しっかり検討を

湯本市 蔵



質問 小学校適正規模適正配置等審議会の答申とこれからの進め方は。

教育次長 12回審議され、3月6日答申された。内容を尊重し教委、総合教育会議で方向性を確かなものにしていきたい。

質問 私は、1月19日の審議会を傍聴した。議事録は要旨となっている。まとめの審議会非公開の理由は。

教育次長 答申まで公表できないので非公開とした。

質問 審議会提出の資料を簡単に説明願いたい。

教育次長 既存校舎活用、新たな場所、小中一貫校による一括統合と段階的統合によるメリット・デメリットと課題の一览表。4小を1校にした場合の経費比較試算を提示した。

質問 実際問題、4校減らして新しい校舎つくるなんてこと、検討されたのか。

教育委員長 その辺、まだ検討していない。

質問 スクールバス2台買う試算になっているが、実際どこからどのようにという根拠は。検討されたか。

教育委員長 2台の検討、



南小学校の入学式 地域期待の一年生

質問 自分たちで検討しないで審議会に丸投げしても说得できるわけがない。しっかり考えて、説明できるように進められたい。

その他の質問

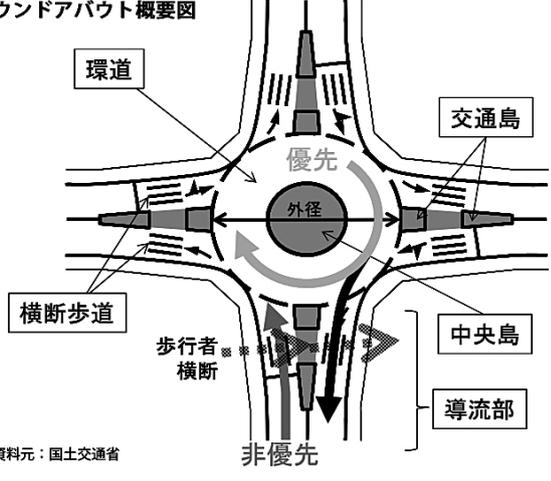
○大雪・残雪対策、道路改良事業・上野堀ノ内線、森林整備計画について

○政府の農業・農協改革、志賀高原農協の合併問題

農業委員会組織・制度改革の現状等について

○町長3期目の課題と政治姿勢、特に平和を守る立場堅持について

○ラウンドアバウト概要図



信号機が無い円形交差点

*資料元：国土交通省

救急搬送先病院の受け入れ態勢 確立に向けて

布施谷 裕 泉



質問 緊急搬送先が近くの指定病院ではなく、遠くの病院になる割合が、特に冬季に多い。その理由と対応は。

町長 観光地ということもあり、スキーシーズンには割合が高くなる。北信病院については再構築の取り組みのもと、医療体制の充実化が図られている。少なくとも受け入れ難により、尊い命が失われることの無いよう対応して頂くために、各方面と連携を密にしていきたい。

質問 今後介護現場の手不足が課題となる。現状認識と対応は。

健康福祉課長 看護師・ケアマネージャー等有資格者の不足感は強いものの、今は何とか充足している。しかし10年後は介護される側

になることも想定される。対応として国は、月1万2千円の賃金増といった処遇改善を行っているものの課題は多い。これからも国・県・事業者と共に考え対応していきたい。

質問 町活性化の観点から、休止ホテルの売買を含めた利活用に取組む場合、固定資産税が大きな課題となる。条件が満たされた場合

過疎地域特例で三年間の課

税免除があるが、五年間に延ばすなど内容の検討をプロジェクトで始めるべきではないか。

副町長 人口を増やすのに必要なのは仕事だとすれば、大切なことではないか。

質問 当町には空き店舗の改修補助はあるが、空き施設にはない。公共施設も含め、合わせて考えていくべきでは。

総務課長 検討したい。



救急車、出番がないのが一番であるが

遊覧資産および インフラ整備の 推進を

高田 佳久



質問 観光資源としての世界平和大観音を今後どのような周辺整備し活用していくのか。

観光商工課長 来年度にかけて、周辺の案内看板の整備を進めている。

質問 世界平和大観音は登録有形文化財の建造物、もしくは美術品の登録に向けての、今後の動向は。

教育次長 4月に調査希望を長野県へ提出する予定。

質問 登録有形文化財として登録されるよう町での体制づくりを行い、文化芸術



道の駅に設置された世界平和大観音の看板シート

資源として、地域振興・観光振興に活用したいが、

町長 平地観光の目玉として、今年度予算を付けた。関係者の意向を踏まえながら、利活用を考えたい。

質問 過日、東小学校PTAおよび東部議員団から要望書が提出された東小学校裏手の急傾斜地対策についての進捗は。

建設水道課長 昨年、県単等の工事要望に入れて、建設事務所へ要望している。

町長 地元の皆さん、関係する行政、役場内部と十分連絡を密にし、子供の安全

を確保することを含め、今後は対応したい。

質問 町道金倉代線拡幅工事の早期着工に係る要望書が提出されているが、その後の対応は。

建設水道課長 大分前からの懸案事項で、色々な経過がある中、できることから進めたいので、本年度新たに実施計画に計上した。

質問 次年度より工事対応に向けた地元協議を行う考えは。

町長 町だけでなく県とも十分相談しながら内容を精査し対応していきたい。

町長は3選の機会に大脱皮を

黒岩 浩一



観光商工課長 民間とは分
担・協力してやっており、
恥ずかしいとは考えない。

質問 当町はいま衰退を止
め得るのかのまま死に体にな
るかの重大な岐路。また

色々注目され、チャンスでも
ある。しかるに今回無投票
3選後の町長の所感を見
ると、この辺の自覚が十分
か疑問あり。また従来から、
「過度の自己保身感覚」と
「裸の王様化」の危惧あり。

この機会に大脱皮して、高
い理念と人間力人格力で役
場と町を牽引願いたい。

町長 3選後の所感の言葉
尻から全体を推断されるの
は心外。トップダウン・ボ
トムアップ、目配り気配り
心配り、不易流行の考えで
やってきたし、今後も皆さ
んと一緒に努力する。

質問 観光連盟の活動が不
十分。例えば英文の町内案
内誌作成と無料配布で民間
が先行した。役場・観光連
盟は恥ずかしくないか。

質問 野猿公苑の外国人観
光客の町内宿泊率は。また
白馬、野沢温泉に取られて
いる宿泊客を取り返す策は。

観光商工課長 宿泊率は統
計なく不明。白馬・野沢の
外国人宿泊客が野猿公苑に
来るのは、当町にとって悪
いことではない。

質問 その考え方は不可解。
(特に答弁なし。)

また野猿公苑入園者数と、
湯田中渋外国人宿泊者数か
ら宿泊率推計が可能ならば、
観光商工課長 推計50〜60
%。(後日この半分と訂正)

質問 観光商工課長の答弁
および先日農産品小売価格
に対する農家手取り率の推
測を示せなかった農林課長、
何れも肝心な点につき問題
意識が不足では。

意図が不足では。



この町にふたたび繁栄を

町の景気回復元年

小林 克彦



質問 個人住民税の比較で
課税所得も推定できると考
えるが、ピーク時の平成9
年と直近年の差はどうか。

税務課長 資料のある19年
度と26年度の比較は総所得
金額が16億円の減で、この
うち給与所得が15・6億円
減少している。

質問 税制改正が幾度か
あり単純に比較できない
が、あえて試算すると控除
後の課税所得はピーク時
163万円が平成24年度は
92万円であり大幅な収入減
である。しかし、近年は底

をうち上向き傾向と考えら
れるが。

総務課長 少しは地方に波
及効果が出てきているので
はないか。

質問 地域経済活性化支援
機構から湯田中渋温泉郷が
指定を受け再開発とある
が、内容はどうか。

観光商工課長 主に外国人
の富裕層や首都圏の20代
40代の女性を対象にしたも
のと聞いている。

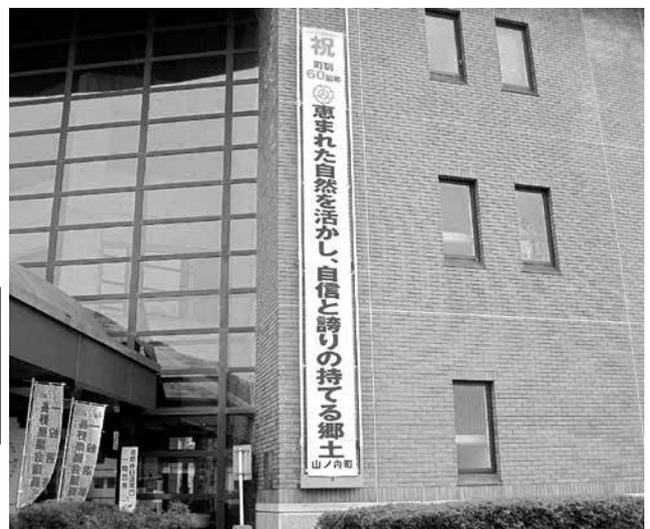
質問 観光も農業も、町全
体としての経営規模の今以
上の縮小は阻止しなければ
ならないか。

観光商工課長 ふるさと回
帰支援センター活用や研修
会等で付加価値を付けたい。

農林課長 県の里親制度に
より新規就労支援に取り組
んでいる。

質問 今年は、新幹線延伸、
御開帳、外国人客の増、ユ
ネスコエコパークと好条件
が揃っている。町の景気回
復元年とできないか。

町長 庁内の体制もそれら
に対応すべく整え、民間と
連携し、その活力を活かし
たい。町制60周年の年でも
あり、好機として捉えなが
ら頑張っていきたい。



町制施行60周年を意義ある年に

プレミアム商品券発行は

望月貞明



質問 国は、各地で地域内の消費喚起効果が実証されているプレミアム（割増）付き商品券の発行に助成する。当町の発行計画は。

観光商工課長 町商工会に業務委託する。発行は6月から9月を検討中。

質問 プレミアム率と有効期限で効果が変わる。また、県外からの消費、誘客等に町外での販売計画は。

観光商工課長 プレミアム率は2割以上を想定、期限は12月中旬までと考えている。町外販売は観光連盟と相談しながら検討する。

質問 地方版総合戦略策定における人材確保は。

総務課長 第5次総合計画の後期計画策定後に戦略を策定する。国・県の窓口と連携しながら後期計画策定と同じ審議委員が行う。

質問 町道の除雪条件に道

路の幅員制限がある。同じ幅員で除雪する道としない道があるのはなぜか。

建設水道課長 同じ幅員でも両側の建物、雪置場で条件が違う。例の町道は区から町に除雪要望が出ていないようだが、業者立会いで除雪の可否を判断したい。

浄水膜の目詰まり防止は

質問 本年、寒沢水道に導入される膜ろ過方式は、濁

りで目詰まりしないか。

建設水道課長 濁度を感知して濁り水の浸入を止めるシステムを採用する。

子育て支援メールは

質問 初めての妊娠は、出

産まで初めて遭遇することが多く不安や孤独に陥る人が多い。これを解消するメール配信サービスがあるが

健康福祉課長 件数の問題はあるが研究してみたい。

「やまのうちまちプレミアム付商品券」取扱店募集

町では地域経済の活性化と住民生活支援のため、発行総額7,000万円、40%のプレミアム付商品券を発行します。この商品券の取り扱いを希望する事業者を募集します。

応募資格
町内で事業を営む方で、業種は問いません。

応募方法
所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、山ノ内町商工会宛てにファックス、郵送、メールまたは商工会事務局へご提出ください。（商工会事務局は土日祝日は休業です。）
申込用紙は、商工会事務局で配布する他、町及び商工会ホール、ページからダウンロードできます。

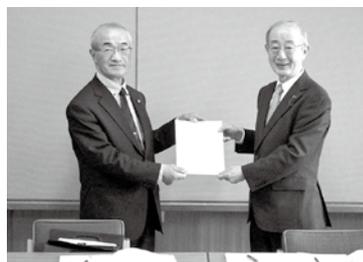
40%のプレミアム付商品券を発行

常任委員会再編を議長へ答申

— 議会基本条例は継続検討

平成25年6月に児玉議長から西議会運営委員長に諮問された事項について、全議員で構成する議会活性化研究会で2年間25回にわたり検討してきましたが、27年2月27日に、次のとおり答申しました。

- 答申
- 議会基本条例の制定を含めた議会活性化のあり方
議会活性化の諸課題の検討にあわせ、議会基本条例の制定について議論を重ねてきたが、制定には至らなかった。
 - 議会定数減に伴う常任委員会の再編
 - ① 現行の総務常任委員会と観光経済常任委員会を統合し、委員定数を「7人」とする。
 - ② 社会文教常任委員会の現行委員定数「6人」を「7人」とする。
 - ③ 議会運営委員会の現行委員定数「7人」を「6人」とする。
 以上につき、平成27年6月1日からの施行にむけ、委員会条例の一部改正を行う。



議長へ議運委員長から答申

議員懇談会

部落解放同盟山ノ内町支部 2/18

総務常任委員等と本人通知制度の導入について懇談。第三者が他人の戸籍謄本等を不正に取得することを抑止するため、戸籍謄本等を第三者に発行した場合、その旨本人に通知する制度。議会では決算審査意見で導入検討を明記しています。

消防団幹部

2/18

総務常任委員等と懇談。

J A 志賀高原

3/6

J A 志賀高原から組合長と理事等、議会からは観光経済常任委員等で懇談。

議会では、昨年9月にJ A 志賀高原からの陳情を採択し、国に対し農業改革に係る意見書を提出しました。その後の農業改革の状況と4農協の合併について、組合長から説明を受けました。議員からは多くの質疑があり、また農協改革も農協合併も、地域と農家を守るものであってほしいと要望しました。

議員協議会

第1回（2月27日）

- 議会委員会条例一部改正
- 議長杯マレットゴルフ大会の協賛

第2回（3月10日）

○ 町農業委員会委員の推薦

第3回（3月30日）

○ 26年度議員活動費会計報告

みなさんからの請願・陳情

3月議会定例会で次の陳情を審査・採決しました。

(陳情第2号)

建築物の設計・工事監理業務等の入札に、最低制限価格(85%以上)の設定を求める陳情です。

昨年6月議会で同様の陳情を不採択としており、今回審査を付託された観光経済常任委員会では、当町の状況に合致しないことから不採択。本会議で採決の結果、採択賛成少数で不採択としました。採択賛成者は3名(望月貞明・田中篤・布施谷裕泉)でした。

(陳情第3号)

審査を付託された総務常任委員会でも不採択すべきものと決定。しかし本会議で討論の後採決した結果、採択に賛成が多数で可決。委員会審査報告と異なる結果となりました。

採択に賛成しなかったのは5名(望月貞明・田中篤・黒岩浩一・徳竹栄子・小林克彦)でした。続く意見書提出の議案も、同様に賛成多数で可決しました。

受理番号	件名	陳情者	審査結果
陳情第2号	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田修平 他1名	不採択
陳情第3号	集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情	長野県平和委員会 代表 永井光明 他4名	採択 (意見書提出)

集団的自衛権容認の閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書の提出を求める陳情

賛成討論

山本 良一

陳情について、過去3回提案され、特に9月議会においては閣議決定の撤回を求めている。総務常任委員会は、議会在が撤回を求めてきた閣議決定に基づく法整備

反対討論

望月 貞明

陳情は、他国防衛を目的とする国際法の集団的自衛権と自国防衛を目的とした閣議決定の内容を同一視し、他国に参戦する集団的自衛権と決めつけ、憲法解釈変

賛成討論

渡辺 正男

総務委員長の不採択との報告は、これまでの当議会の機関意思決定に対して矛盾する。「戦争立法」の重大問題は、米国が世界のどこであれ戦争に乗り出せば、

意見書反対討論

黒岩 浩一

備には関連性が無いというが、関連している。法整備の段階に至ったので整備にあたり、しっかりと整備をもとめるべきという不採択の理由だが、過去議会在が認めてきた主旨と変わらぬ陳情だから、主旨採択したうえ、委員

更と批判している。しかし閣議決定はミサイル、大量破壊兵器の開発等、国際情勢変化に対応しての憲法9

条枠内での日本の防衛体制の見直しであり、従来の憲法解釈と論理的に整合している。一方的で客観性、現実性に欠ける陳情に反対。

議会

全員協議会

第1回(1月27日)

- 第5次町行政改革大綱実施計画(26年度版)について中間進捗状況報告
- 今年度の除排雪費の状況
- 除雪支援員の経費

第2回(2月13日)

- 町森林整備計画
- 上水道事業変更認可
- 町制60周年記念事業
- 植樹された被爆樹木二世「アオギリ」「クスノキ」

第3回(3月10日)

- 町の財務書類
- 町子ども・子育て支援事業計画
- 町高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画
- 第4期町障害福祉計画
- 小学校適正規模適正配置等審議会の答申

第4回(3月30日)

- 町税条例の一部を改正する条例の制定
- 町保健事業実施計画(一タヘルス計画)



議会だよりの軌跡

号数	発行日	表紙の写真	特記事項
28	9・4・30	第2回ぎ・ピーチクパーチク	五大陸の子どもたちガラ・コンサート
27	9・1・31	ソバ収穫祭、種まきのつどい	五輪複合回転白馬へ
26	8・10・31	長野オリ夏祭りinやまのうち	傍聴席から 小根沢きよ子・湯本淳子
25	8・7・31	町民プール開き	傍聴席から 東宣雄・宮崎あい
24	8・4・30	ザ・ピーチクパーチク モモの花の下で町づくり	傍聴席から 小林和憲・春原栄子
23	8・1・31	五輪スノーボード決定を祝う	傍聴席から 平林和憲・春原栄子
22	7・10・31	よませ保育園運動会	傍聴席から 中山茂樹氏町長に
21	7・7・31	穂波大橋の完成祝い	傍聴席から 東宣雄・宮崎あい
20	7・4・30	平和観音の豆まき	傍聴席から 中山茂樹氏町長に
19	7・1・31	野沢温泉のインタースキー	傍聴席から 中山茂樹氏町長に
18	6・10・31	湯宮神社のみこし	傍聴席から 平林和憲・春原栄子
17	6・7・30	県総合防災訓練五色の放水	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
16	6・4・30	オリンピック旗のパレード	傍聴席から 青木次雄・山本義朗
15	6・1・31	五輪カウントダウンボード点灯	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
14	5・10・31	山中30周年記念大なわとび	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
13	5・7・30	平和観音30周年稚児行列	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
12	5・4・30	親子園児	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
11	5・1・30	五輪めぐしスキー、志賀保育	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
10	4・10・31	全国消防技術大会7位	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
9	4・7・31	町議会で県知事に陳情	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
8	4・4・30	印式	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
7	4・1・31	エイ完成	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
6	3・10・31	北信町村議会議員大会	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
5	3・7・30	五輪決定、半世紀の悲願達成	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
4	3・4・26	雪のプレゼント出発式	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
3	3・1・30	夜間瀬川流路工竣工	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
2	2・10・30	夢キャッチオリンピック祭	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子
1	2・7・24	五輪開催地決定まで後1年	傍聴席から 徳竹徳重・山本とし子



号数	発行日	表紙の写真	特記事項
59	17・1・25	台湾教育関係者スキー体験	議員定数条例改正18人↓16人。議員報酬10%削減
58	16・10・25	なごみの里お披露目イベント	活性化への提言 山田和由
57	16・7・26	湯田中温泉夏まつり	活性化への提言 佐藤忠夫
56	16・4・26	山中入學式(対面式)	議会自立研究会設立
55	15・12・6	保育園のクリスマス会	活性化への提言 佐々木明雄
54	15・10・21	市町村合併地区懇談会	新議員紹介
53	15・8・11	ロングランつり大会	合併住民投票条例可決
52	15・5・12	楓の湯オープン、足湯	議長 小島友一 編集委員長 湯本市蔵
51	15・1・27	いきいきふれんど、キンボール	活性化への提言 畔上恵子
50	14・11・11	志賀一沼の紅葉	活性化への提言 友野貴市
49	14・7・24	農業と観光のタイアップ	活性化への提言 水野友規
48	14・4・24	第3回こどもマラソン	活性化への提言 水野友規
47	14・12・8	志賀統一スキー場開き	活性化への提言 水野友規
46	13・10・29	南小運動会たいまつリレー	活性化への提言 水野友規
45	13・8・8	町長林女子バレーボール大会	活性化への提言 水野友規
44	13・4・25	FIS よつてかつしやい広場	議長 中山稿一 編集委員長 渡辺正男
43	13・1・29	どんど焼き	活性化への提言 青木久美子
42	12・10・25	天川神社秋祭り	議論要旨掲載始まる
41	12・7・31	岩菅山開山祭	活性化への提言 大井進一
40	12・4・30	第2回長野マラソン	活性化への提言 大井進一
39	12・1・31	平和観音の豆まき	活性化への提言 大井進一
38	11・10・31	菅の里オープン	活性化への提言 大井進一
37	11・7・31	林美美子文学館オープン	傍聴席から 横山武男
36	11・4・30	第1回長野マラソン	議長 佐藤富治郎 編集委員長 中山稿一
35	11・1・30	恒例のどんど焼き	傍聴席から 横山武男
34	10・10・31	運動会大玉おくり	活性化への提言 市川文夫
33	10・7・31	東小児童コカリナ演奏	活性化への提言 山崎育雄
32	10・4・30	山会場	活性化への提言 湯本秀明
31	10・2・5	平澤岳選手に声援、五輪焼額	活性化への提言 湯本秀明
30	9・10・31	第2回夏まつり	活性化への提言 湯本秀明
29	9・7・31	オリンピック200日前イベント	傍聴席から 堀内睦男

県町村議会広報コンクール
奨励賞受賞
第12号
(平成5年4月30日)



創刊号
(平成2年7月24日)

100号発刊にあたり



議長 児玉 信治

議会活動の情報を提供すること、住民に議会と町政への関心を深めてもらい、町づくりにへの協力を引き出すために議会広報は、必要不可欠です。情報媒体は、ケーブルTV・ホームページなど、活用の幅も広がっています。ITやケーブルTVの速報性には及びませんが、何度でも読み返せ

る印刷媒体の「議会だより」は重要です。当町では編集に当たり、広報常任委員会が設置され、委員が熟慮を重ねていますので、それだけ中身の濃いものになっています。しかし、当町では厳しい財政状態のため、町広報との合冊で掲載しています。議員活動を通じ町政の情報提供など、十分とは言えませんが、委員各位の努力によって充実した内容になっております。さらに読みやすく・分かり易くをモットーに努力しますので、皆様のご愛読をお願いします。

自信と誇りの持てる町に



町長 竹節 義孝

100号おめでとうござい
ます。先人達が、議会の活動内容を町民の皆様に紹介したり、身近な存在として発刊され、以来、25年、100号を数える事は、時々の編集委員の方々とともに、全議員のご協力の賜物と感謝申しあげます。町も、今年町制60周年を迎えますが、「過去を振り返ることは、将来に責任を負うこ

と」とし、当町の「恵まれた自然を活かし、自信と誇りのもてる郷土」づくりを目指し、25の記念事業を企画し、町民の皆様にご参加いただいたり、町の観光や農業を国内外にPRして参ります。昔から「水を飲む時、井戸を掘った人のことを忘れてはならない」と言い伝えられており、こうした折、住民・議会・行政が協働した町づくりが大切であり「不易流行」「歴史や伝統を大切に、時代やニーズにマッチした改革」を行ない、ともに元気な町づくりの推進に、積極的に努めて参ります。

号数	発行日	特記事項
71	20・1・24	
70	19・10・25	議会住民アンケート結果報告 議会活性化研究会発足
69	19・8・28	議長 小林克彦 編集委員長 渡辺正男 町政キャッチボール開始
68	19・4・27	竹節義孝氏町長に
67	19・1・25	中山町長不出馬を表明
66	18・10・25	湯田中駅新ホーム完成
65	18・7・25	初の女性教育委員に佐藤東子氏
64	18・4・25	雪の回廊ウォーキング、職員不祥事問題
63	18・1・25	都市計画税条例改正(志賀高原地区を除外)
62	17・10・25	健康と福祉の町宣言を可決
61	17・7・25	議長 山上政彦 編集委員長 畔上信男
60	17・4・25	広報やまのうちに合冊となる

号数	発行日	特記事項
99	27・1・27	第8回議会報告会結果 みんなのひろば 村上徳二郎・小林裕正
98	26・10・23	みんなのひろば開始 小池清美 一部カラーに
97	26・7・24	よませ保育園大規模改修
96	26・4・24	小学校適正規模適正配置等審議会条例を可決
95	26・1・23	土地開発公社解散
94	25・10・23	須賀川区 集落再熱泉内モデル地区に選定
93	25・7・25	ほなみ保育園大規模改修
92	25・4・24	議長 児玉信治 広報委員長 黒岩浩一
91	25・1・25	小学校統合問題審議会条例を否決
90	24・10・23	夜間瀬駅上条駅トイレ改修に補助金
89	24・7・26	ユネスコエコパーク地域変更申請 議会反問権開始
88	24・4・25	消防署新庁舎起工
87	24・1・24	議員定数条例改正16人↓14人、景観条例制定
86	23・10・25	湯田中駅観光案内所オープン
85	23・7・25	子ども医療費18歳まで無料に
84	23・5・25	議長 小淵茂昭 広報委員長 渡辺正男
83	23・1・25	噴水公園の1億円に待った
82	22・10・25	第5次総合計画前期基本計画策定
81	22・7・28	志賀高原命名80周年記念事業
80	22・4・26	旧つつみ保育園建物を町社会福祉協議会へ譲与
79	22・1・26	町道湯田中夜間瀬線歩道竣工
78	21・10・26	第3回議会報告会結果 だいすきやまのうち 布施谷明人
77	21・7・27	議長 山本一二三 広報委員長 黒岩浩一 だいすきやまのうち 羽深久子 広報アドバイザー 竹節直人
76	21・4・25	子育て支援センター「ゆめっこ」開所 だいすきやまのうち 下田正弘
75	21・1・26	消費者生活相談室設置 だいすきやまのうち 宮崎滋水
74	20・10・27	だいすきやまのうち 勝野基吉
73	20・7・24	議会ホームページを大改造 だいすきやまのうち 山田隆三
72	20・4・24	だいすきやまのうち 樋口米蔵 議会だよりモニター 竹節直人
		4/1から広報常任委員会を設置 初代委員長 渡辺正男

議会だより100号記念

議会だより今昔

平成6年編集委員長 宮崎 功

100号記念号に何か書いてくれと頼まれたが、何しろ20年も昔の事なので記憶が薄らいでいる。当時の編集委員仲間の小林寿氏、佐藤幸次郎氏などは故人となられたが、編集方針、中立性、また結果報告書だけに終わらない様になど委員仲間でも議論したり、議会だよりコンク

ールの「奨励賞」を受けたことなど良い思い出である。手書きが主流の時代であったので原稿書きと編集作業は苦勞が多かったが、仲間に国語の先生(故小林寿氏)が居たので校正には助かった。一般質問は議員が



町民に親しまれる「議会だより」を目指し編集に取り組む委員(議会だより第13号・平成5年7月30日)

それぞれの分を要約して議会だよりに掲載するのだが、正直な所、文意不明で困ることもあった。しかし最終的にはいつも筆者の意向を尊重した積りだ。どうしたら多くの町民に読んで貰えるかは永遠の課題である。費用節減のためいつ頃から議会だよりは町の広報に合冊となった。これは議会の独立性という面からは好ましくないのだが、町民が読む率は高くなつた気もする。また、「小さなスペースで最大の効果を」という問題は以前からのことだが、更に充実した親しまれる紙面作りには議会だより担当議員諸氏の奮闘を祈るや切。

1号で編集副委員長、100号で退任、これも奇縁

平成15年編集委員長 湯本市 蔵

議会報は、話題になつてきたが難しかった。平成元年から会議録ができたのと同様に、山本東太郎議長の強い意向で平成2年6月議会から発行の方向になった。5月末の東京での広報研修



第58号(平成16年10月25日) 湯田中かえで通りが活気に沸いた「なごみの里 お披露目イベント」

会に私が派遣され、7人の編集委員会で悪戦苦闘し、7月末創刊号が発刊できた。当時は、長野冬季オリンピック招致決定まであと1年の時で、以後32号の成功までオリンピック関連の記事がないときはなかった。苦労したのは、表紙の写真と議員提出の一般質問記事の校正、それぞれの個性が出ていて大変でした。議会が終わってホットするのですが、それから始まる苦しみは、原稿書きや編集、校正の作業。町政や議会活動を知ってもらうためにな

町民に親しまれる「議会だより」を目指し編集に取り組む委員(議会だより第13号・平成5年7月30日)

てはならない重要な任務と信じてやってきました。今の町広報との合併号になったのは60号からで、私が委員長でした。独自に発行していた時より表紙がない分編集は楽になりました。でもよかったのかどうか。独自に発行している議会が多く、再検討も必要です。そして8期32年の最後の議会報が100号、何か不思議な縁を感じます。これからは議員経験者として新議会のご活躍、議会報の発展を期待しています。

これからの議会だよりに望む

佐野 高相 高就

議会だより100号の発行、おめでとうございます。今後、親しまれる議会だよりの発行、お願いします。広報やまのうちの議会だよりは、毎回拝見しています。が、議会だよりに加えていただきたい事があります。住民の代表である議員は、一般質問を行います。町長・課長等の回答の多くは、「今後、検討してまいります」とあります。その後の検討結果や取り組みは、とても重要な情報だと思いますが、議会だよりに載ることとはありません。数年前、地元議員に「上水道の濁りがひどい」と話をしたところ、議会の一般質問で浄水場の管理内容を取り上げていただきました。行政の回答は、上水道施設の更新は今後の検討とのことでした。後日、処置とし

て、濁っている川の取水を停止することで、濁りは改善され、6〜9月の夕立時には、一時的に取水を止め、濁り対策が取られました。こういった一般質問の後に行われた内容が、今の議会だよりでは見えません。動きが見えることで、住民は行政・議会の内容がより分かり易くなります。是非とも議員の一般質問や要望に対する行政の取り組みや検討結果を、年に1度は広報で出していただければと思います。

追跡 あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後のゆくえ

<p>平成24年3月定例会 一般質問</p> <p>■ 新入生の机と椅子を木製にしたかどうか。 ■ 全教室は難しいが、特別教室は検討したい。</p>	→	<p>平成26年12月定例会で昇算化</p> <p>■ 廊下(35脚)・七小(30脚)・廊下(35脚)音楽教室に導入予定。 ■ 上伊那材の椅子</p>
<p>平成26年3月定例会 一般質問</p> <p>■ 災害時の施設表示に多言語シート*を作成すべきだ。 ■ 避難所20カ所ほどの設置を検討する。</p>	→	<p>平成26年12月定例会で昇算化</p> <p>■ 多言語対応パンフレット作成。しかし施設内多言語シートは未実施。 *各団体の案内表示</p>

飯島町議会だよりの追跡記事

100歳をのびのびと



大正三年六月五日生まれ

松田レイ

百回記念おめでとうござ
います。それに因ちなんで私も
100歳と一年近くになりま
すが、周囲の方々や町に助け
られ、やや健康である事を神
仏に感謝しております。只今
は耳も遠くなり頭脳も怪しく
歩行もよろめきつつ、独居老
人として社会に順応を心がけ
て居ります。

且かつつて小学6年卒業し続け
て中野町の学校へ往復16kmの
道を毎日徒歩で通学し、夏は
太陽に挑み冬は一尺もの雪道
を男学生の靴跡をたどり吹雪
の中黙々と歩いた。これが現
在の健康につながる一歩かと
自身秘かに納得しています。
箱山を越えた日もあります。
バスも電車も無く荷車がたま
に通りました。

話とはび主人と関釜かんぶ連絡船
で釜山に着き、満鉄勤務の主
人と約二年の満州生活し内地
へ戻りました。やがて一銭五
厘の重い赤紙で主人は応召、
約6年間戦地より帰還致しま
す。その間私と幼児は実家
の旅館で疎開がてら手伝いし、
太平洋戦争は激しくなり温泉
町は東京より学童疎開になり、
割り当て40人位の毎日の食事
を用意しました。やがて国策
にそい学童一同は他村の寺等
へ再疎開され、湯町は白衣の
傷痍軍人の姿に変わりました。
昭和20年8月の玉音に軍人や
町の人々は涙を流しました。
それから紆余曲折の後私達
は戦後の動揺の中、子供さん
達に郷土の文化をと伝承の昔
話を紙芝居にして観て貰おう
と相談し、何故か不肖私が担
当となりました。

みんなのひろば ~議会だより100号 25年にちなんで~

25歳になろう

寒沢 湯本裕也

「議会だより100号25周年」おめでとうございま
す。同じ年の25歳というこ
とで書かせていただきます。

私がこの自然豊かな山ノ
内に生まれ育ち25年が経ち
ました。沢山の思い出がこ
の山ノ内にあります。小学
生の頃は、家の中で遊ぶよ
りも外に出て遊ぶことのほ
うが多く、何より記憶に残
っています。夏は山にカブ
トムシやクワガタを捕りに
行ったり、冬はソリを持ち
出し車道で滑ったり、近所
の方々には沢山ご迷惑をか
けてきたと思います。それ
でもそうして遊んだ日々は、
決してゲームでは得られな
いものを私に与え、そして
教えてくれたと思います。

私はこの自然に囲まれた
町が好きです。周りに遊ぶ
ところがなくつまらないと
思う日々もありましたが、
それでも空気が澄み星空が
よく見え、育った農作物が
美味しいこの山ノ内に生ま
れてよかったです、25年経っ

た今は心から思います。

そんな私も今は家庭を持
ち、現在はまだ妻と二人で
すが、いずれは家族が増え
る日が来ると思っています。
いつの日か生まれてくる子供
にも、この自然豊かな山ノ
内が好きになってほしいし、
自分のように「この町で生
まれ育つてよかった」と思
えるように育つてほしいな
と思います。

最後に、これから先いま
以上に素晴らしい山ノ内に
していただけるように、町の人
みんなで意見と知恵を出し
て盛り上げていければと思
っています。



編集後記

「和をもつて貴しとなす」との
思想は日本文化・民族性の一つ
の優れた真髓であり、世界的に
も、外交理念や国際関係におい
て近年改めて見直されている。

しかし、物事には常に二面性
があるのに、地方では「和とは
どんな場合でもかどを立てず
婉曲に」と、極めて一面的に考
える場合が多い。特に行政では、
住民の要望や意見に対し婉曲に
断る場合の常套句で、「あれも
ある、これもあるから」とか、「十
人十色で、他にも色々意見があ
るから」とよく言うが、これ
は変である。

「あれもありこれもある」、ま
た「意見は十人十色」は当然の
事だから、それ自体は断りの理
由にならない。

要は、自分の判断基準にもと
づいて優先順位や諾否を明確に
し、それを住民に説明・説得す
る見識があるかどうかである。
これが意思疎通の基本であり、
それが出来てから初めて本当の
「和」が生まれる。

今回は100号記念特集号と
なった。時代に沿って、今後と
も町も議会も議会だよりも、い
っそう成長・変容・発展してい
って欲しい。

(黒岩浩一記)